

しずおか自治連だより

葵区

駿河区

清水区

発行 静岡市自治会連合会 -第9号-

編集 広報編集委員会

2013年(平成25年)2月15日発行/発行部数 259,400部

連絡先:静岡市葵区追手町5番1号 TEL・FAX:054-221-1568

平成24年11月現在 人口721,996人 自治会・町内会数962

※しずおか自治連だよりに関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。ホームページ: <http://www.shizuoka-jichikai.net/>

葵区
AOTI-KU

静岡市
SHIZUOKA CITY

清水区
SHIMIZU-KU

駿河区
SURUGA-KU

東海・東南海・南海地震の3連動発生など 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等

国(内閣府)が平成24年8月29日に公表した「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等」について、静岡市の状況をお知らせします。(静岡市総務局危機管理部防災対策課からの資料提供)

★ 国からの公表内容の基本的考え方

- ・「東日本大震災」で得られたデータを含め、発生し得る最大クラスの地震・津波を推計したものです。
- ・この「最大クラスの地震」は、その発生時期を予測することはできませんが、発生頻度は極めて低いものです。

★ 津波高等 各地区の津波高及び1mの津波が海岸に到達する時間は、次のとおりです。

区 域	想定津波高(海岸)	1mの津波到達時間(海岸)	備 考
駿河区安倍川西側	5～8m	4～6分	
駿河区安倍川河口	約9m		
駿河区安倍川東側(中島～大谷)	6～8m		下島の一部で約11m
駿河区久能	8～10m		一部で約12m
清水区外海側(駒越～折戸)	7～11m	3～5分	
清水区外海側(三保)	4～6m	2～4分	
清水区内海側(折戸湾内)	3～5m	6～14分	
清水区内海側(辻～袖師)	4～5m	4～7分	
清水区興津～蒲原	4～7m	2～4分	

★ 南海トラフの巨大地震津波情報 各地点の津波浸水深や津波到達時間を静岡市ホームページで閲覧することができます。(アドレスは<http://www.city.shizuoka.jp/>)

★ 主な留意点

- ・今回の推計は国の広域的な防災対策を検討するための基礎資料とすることを目的としたもので、静岡県では、この推計を基に「第4次地震被害想定」の策定作業を進めています。

★ 今回の想定をふまえた今後の静岡市の津波対策

- ・静岡市では、今回の想定をふまえ、津波避難施設の整備や各地区の連合自主防災組織などへの情報提供を行い津波避難計画を作成していきます。



▲津波タワーイメージ図

災害時に的確に行動し、自らや家族の身を守るために～静岡市防災メールによるメール通信～

- ・地震関連情報や気象関連情報等を携帯電話やパソコンへメールでお知らせするためのシステムで①地震関連情報、②気象関連情報、③その他の3種類から受信を希望する情報を選択し受信することができます。
- ・静岡市防災メールは同報無線に比べ、屋内・屋外を問わず、個人に直接、緊急情報を受信することができる有効な手段となります。
- ・登録方法は登録用アドレスE-mail: siz-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.comへメールを送信します。その後、登録サイトから返信メールが送信されますので手順に従って登録してください。

津波減災をめざして

一昨年の東日本大震災では、改めて地震の怖さを知ると共に津波の被害の大きさに愕然とした事は記憶に新しい事です。被災をされた皆様には慎んでお見舞い申し上げます。30年以上も前から東海地震が心配されている私たちも他人事ではなく、多くの教訓を学び日頃から災害時に備える防災訓練や地域づくりの大切さを痛感しました。昨年8月29日内閣府から東海地震による推定津波浸水域と津波の高さなどが発表され、各地区ともその対応が緊急の課題となっています。

〈各学区の取組と課題〉

◆ 久能

- ・有度山斜面の南側であるため、避難場所は確保できている。
- ・苧畑の間を避難するとき、避難路が狭いので整備が必要。
- ・避難路が急斜面で路面も未整備であるので弱者対策が必要。
- ・有度山斜面が崩落した場合、避難場所へ土砂が来ることが心配。

◆ 大谷学区

- ・有度山麓の高台に公園が整備され避難地として使用できる。
- ・現在の有度山斜面への階段は急斜面であるので弱者対策が必要。
- ・避難場所の上部や避難路で崖崩れのおそれがある。

◆ 宮竹学区

- ・地域で独自に、避難ビルとして民間建物の協力を得た。

◆ 大里東学区

- ・津波避難ビルである大里東小学校の屋上への避難経路を確認した。
- ・下島南に予定されている避難タワーに協力する。

◆ 中島学区

- ・地域で独自に、避難ビルとして民間建物の協力を得た。
- ・国道150号の高架を避難場所として使用するため、社会実験に参加する。
- ・大浜公園に予定されている避難タワーに協力する。

◆ 長田南

- ・高台へ避難経路を整備。
- ・沿岸部と高台との間のJR線を円滑に渡る方法が課題である。
- ・津波避難ビルに指定されている病院へ避難するに際し、患者の上層部への搬送に協力する。

◆ 川原

- ・「ハイウェイ緑と花のプロジェクト」事業に参画。
- ・東名のり面に花のプランターを植え、緑化及び美化に努める。階段10ヶ所整備。
- ・鍵の開閉がスムーズに行われるか心配がある。



▲津波避難の社会実験(中島学区)



▲ハイウェイ緑と花のプロジェクトによる整備した階段

－ 津波避難ビル －

地区	No.	避難ビル名	受入可能範囲
長田南	1	市営用宗団地	3階以上の階段・踊場・廊下
	2	用宗老人福祉センター	屋上
	3	大三ビル	2～5階の階段・踊場・廊下、屋上
	4	用宗公民館	屋上
	5	長田南小学校	3・4階、屋上
	6	静岡広野病院	5階の食堂兼談話室・廊下、6階倉庫
川原	7	かわはら会館	2・3階
	8	市営桃園団地	3階以上の階段・踊場・廊下
	9	有料老人ホーム ベリデ下川原	2・3階の階段・踊場・廊下
	10	静岡徳州会病院	2階ホール、5階ベランダ
	11	川原小学校	3・4階、屋上
中島	12	中島中学校	3階・屋上
	13	中島浄化センター(水処理棟)	屋上
	14	有料老人ホーム ナーシングホームあしたば2号館	4階ホール、屋上

地区	No.	避難ビル名	受入可能範囲
中島	15	有料老人ホーム ナーシングホームあしたば1号館	屋上
	16	アンビ・タクシー 静岡事業部 立体駐車場	屋上
	17	市営中島住宅	3階以上の階段・踊場・廊下
	8	中島小学校	3階～屋上
大里東	19	介護老人ホーム サンライズ大浜	屋上
	20	有料老人ホーム アイクラシエ高松	2～4階の廊下、屋上
21	大里東小学校	3・4階、屋上	
宮竹	22	宮竹小学校	3階
23	南中学校	3・4階	
大谷	24	大谷小学校	3・4階
久能	25	大江戸温泉物語 すんぷ夢ひろば 立体駐車場	2階・屋上
	26	久能小学校	3階～屋上
	27	特別擁護老人ホーム 久能の里	本館2階・3階ホール、4階事務室・屋上、新館屋上

■ 2 ■ ごみの減量とリサイクル



フォーアール

静岡版もったいない運動実施中

4Rに取り組むことが大切です!

～まずはリフューズ・リデュースから取り組みを～



Refuse

(リフューズ:断る)

- すぐにごみになるものはもらわない。
- マイバッグを持参し、レジ袋や過剰包装を断る。

Reduce

(リデュース:減らす)

- 詰め替え出来る商品や、ばら売りしているものを利用する。
- 物を大切に、できるだけごみを出さない。

Reuse

(リユース:再使用する)

- まだ使える物は、もう一度利用する。
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。

Recycle

(リサイクル:再生利用する)

- 大切な資源を正しく分別する。
- リサイクル商品を購入する。

お知らせ

＜行政による古紙回収事業終了について＞

広報紙「9月15日号」にて、お知らせさせていただきましたが、平成25年3月末で、行政による古紙回収を終了いたします。今後は、自治会等の地域団体による「集団古紙回収」や「民間事業者による古紙回収」をご利用ください。

また、これから「集団古紙回収」の開始について、ご検討いただける場合は、制度のご説明をさせていただきますので、ご連絡ください。お待ちしております。

お願い

＜雑がみは、古紙回収へ出しましょう＞

●雑がみの種類

ティッシュBOX・お菓子等の空き箱、メモ紙類、包装紙、ダイレクトメール など



●雑がみではないもの(可燃ごみ)

ビニールコート紙、防水加工紙、写真、汚れた紙、感熱紙、ノーカーボン紙 など

問合せ:廃棄物政策課 ☎221-1361

■ 見てみよう わがまちのリサイクル 《なるほどびん・缶リサイクル》

葵区・駿河区の各ご家庭から出された“びん・缶類”は、葵区富厚里にあります再生資源選別工場へ搬入、選別加工され、再生資源として生まれ変わり、有効利用されています。

また、当工場では「障害のある方たちの働く場」として、障害者雇用の促進を図るとともに、地域の「環境学習の場」としても、工場案内を積極的に行っています。

ぜひ一度、皆様が出された“びん・缶類”が「どのようにリサイクルされているのか」ご覧になってみませんか？

【お申し込み・お問い合わせ】 静岡リサイクル事業協同組合 総務部(佐藤・村田)

静岡市葵区富厚里1859-1 TEL054(270)1622 FAX054(270)1618

e-mail:info@shizu-re.jp URL http://www.shizu-re.jp



▲駿河区自治会連合会の視察

モダンとレトロが調和する美しい町 蒲原は、品川宿から数えて15番目の宿場町として栄えてきました。古い建造物が今もなお残っている町並みは、江戸から明治・大正と古き良き日本を感じることができます。

清水においでよ

絆



中学生街道時代劇



宿場ギャラリー



オープニング蒲原太鼓

江戸の香りが残る宿場町「蒲原」

慶長6年(1601年)東海道が開かれ、蒲原宿は江戸より37里(148km)東海道五十三次、品川宿から15番目の宿場町として開かれました。当時の宿場は、向田、古屋敷、現在の堀川の辺りに散在していたようです。富士川の舟運が盛んで、米、塩が蒲原浜より清水湊へ積み出されたので馬、人足、舟乗りが多くいて、宿場は繁盛したそうです。寛永年間頃からは武家の参勤交代が始まり、一層の賑わいを見せました。

元禄年間(1690年)には本陣5軒、脇本陣1軒があったと言われていますが、元禄12年(1699年)に大津波(大型台風)で宿場は壊滅状態になり、宿場を山側に移転しました。

蒲原宿の長さは、中之郷村より向田川まで約3,200m、家並長さは、東木戸より向田川1,590mで町数8町、戸数約500戸、人口約2,500人で本陣1軒、脇本陣3軒、問屋場1軒、宿屋35軒、高札場2ヶ所、寺院8院、神社5社でありました。

格子戸が並ぶ軒を歩いてみませんか!

江戸の宿場には、見附や木戸を設けて入口としていました。蒲原宿には、当時の町割と木戸の位置が残っています。木戸内(約1.15km)に残る当時の宿場の面影を感じてみてください。

蒲原観光マップ



とどけ!かんばんの元気

～第10回蒲原宿場まつり&産業フェア～

平成24年11月18日(日)に開催された蒲原宿場まつり&産業フェアは桜えび削り節などの地場産品、工業製品、農産品などの展示、販売を行う産業フェア部門、蒲原古代塗特別展示会のほか駿河裂織展(お休み処)、能面&デジタルアート(旧五十嵐邸)、みせの間ギャラリー、五街道展(志田邸)、蒲原宿と富士山展(木屋江戸資料館)の宿場ギャラリー部門、中学生街道時代劇、蒲原太鼓・虚無僧行脚、静岡の宿場おどり大集合、大道芸など街道イベント部門の3部門の催しには多数の市民、観光客が参加しました。